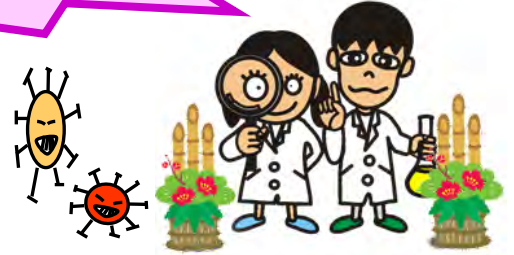
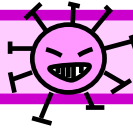


感染症に気をつけよう!

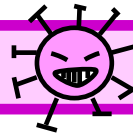
2017年【1月号】

横浜市内の感染症 流行状況

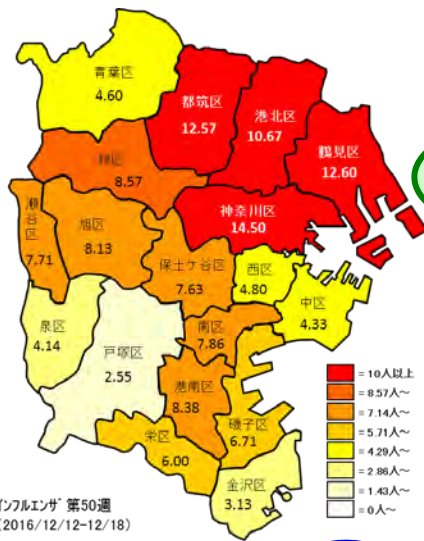


感染症	流行状況		説明 【解説付き既刊号等】 ← クリック
	流行状況	傾向	
感染性胃腸炎	大流行	横ばい	警報発令中です。保育園・幼稚園・小学校を中心に、集団感染の報告も多いです。【'16.12号】【ちらし】【Q&A】
インフルエンザ	流行	増加	例年より早く、11月中旬に流行期に入りました。4区では既に注意報レベルです。【'16.11号】【ちらし】【Q&A】
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	やや流行	横ばい	全国的に例年より多い状況が続いています。最も有効な予防方法は、ワクチン接種です。【'16.6号】【ちらし】

今、気をつけたい感染症



インフルエンザ



- 地図の色が濃いほど患者報告が多くなっています。これから流行が拡大していきます。
- 重症化し入院する例もみられます。
- 医療機関や高齢者施設内での集団発生も起きています。



- 予防には、手指に付いたインフルエンザウイルスを、正しい手洗いでしっかり洗い流すことが一番大切です。
- 感染性胃腸炎などの予防の基本も、日頃から手洗いを習慣にしておくことです。

- もし咳や熱などの症状が出てしまったら、咳エチケットを守り、早目に受診しましょう。



横浜市衛生研究所
感染症・疫学情報課
【横浜市感染症情報センター】